



能代市立朴瀬小学校

校報「にはやし」

学校教育目標
「夢をいだき、強くたくましい子どもの育成」

平成29年12月14日 No.31

ようこそ朴瀬小へ 秋田ノーザンハピネッツの皆さん ドリーム・スクール・キャラバン バasketボール教室



今年、素晴らしいお客様が来校して下さる年です。
12月13日(水)に秋田ノーザンハピネッツの皆さんが本校を訪れ、「ドリームスクール・キャラバン バasketボール教室」を開催して下さいました。

来校して下さったのは、
中山 拓哉選手(背番号17番)
内村 祥也さん(アカデミーコーチ)
高橋 憲一さん(ハピネッツアンバサダー)
の3名の皆様です。

バasketボール教室の前に校長室でお話をしましたが、とても明るく、素晴らしいお人柄を感じました。私の方からは、「本校は全校で20名のうち、1年生も6名おりますが、バasketボールの授業を受けることは大丈夫ですか」とお聞きしました。

そうしたところ、3名のみなさんは、にっこり【3名の先生をお迎えしました】
笑って「大丈夫です」と力強く答えて下さいました。

10時30分からバasketボール教室が開催されましたが、その「大丈夫です」の力強さの意味がよく分かりました。
簡単な講師紹介が終わり、運動にはいったのですが、内村コーチの素晴らしい指導で、次々と子どもたちの動きを引き出していったのです。

最初は、スキップ走でした。
その後、そのスキップ走を元に次々と走り方をステップアップさせていきました。
前と後ろで手を叩きながら走ったり、上と下で手を叩きながら走ったり、それを組み合わせたり。子どもたちはニコニコしながら一生懸命、運動に取り組んでいきました。

片足のスキップでいかに少ない歩数でゴールできるか挑戦したり、ほふく前進をして全身の動きを鍛えたり・・・テンポ良く次々と運動を積み重ねていきました。1年生から5年生までのすべての子どもが運動を楽しんでいる姿がありました。
プロの指導の素晴らしさを見ることができました。



【楽しみながら全身運動。みんなニコニコしながら取り組みました。】

一通り全身運動が終わった後、いよいよボールを使用するの運動になりました。
最初に行った運動が、二人組になって、素早くボールをとるゲームでした。コーチから「頭!肩!」などと声がかかります。そうすると、自分の頭に手をやったり、肩に手をやったりします。そして、コーチが「ボール」と言ったら、間にあるボールをとるというゲームです。コーチの言葉を聞き、素早く体を反応させる、聞く力と反射神経を高める運動だと感じました。そして、何より、楽しい。見ているだけでも楽しいので、ゲームをしている子どもたちはもっともっと楽しかったことでしょう。



【プロの指導で楽しくどんどん上達！】

このようにして、ドリブル・シュート等についても学習していき、どんどん運動の幅を広げていきました。気付けば、あっという間に40分以上が過ぎていました。子どもたちは、どの子も運動に集中していて驚きました。そればかりでなく、最初に運動を始めたときよりも、どの子も明らかに動きがよくなっていたのです。子どもの動きを引き出し、楽しみながら、高めていく。さすが、ハピネッツ！プロの指導とは、これほどのものかと感動しました。

中山選手も、高橋アンバサダーも子どもたちの活動を見守り、優しく声を掛けてくださっておりました。それも子どもたちの大きな励みとなったことと思います。

最後に全校児童とハピネッツの皆さんとで記念写真を撮影しました。

このようにして60分のバスケットボール教室が終了しました。

その後は、子どもたちにサインを書いてくださいました。子どもたちにとって、とても素晴らしい時間でした。ハピネッツの皆さんのおかげで、朴瀬小学校の新しい歴史の一步を刻むことができました。

秋田ノーザンハピネッツの皆さん、ありがとうございました。



【ハピネッツのみなさんと記念写真を撮りました】

子どもたちの活躍

第7回消防美術・防火ポスターコンクール 佳作 ○○ ○○

第50回 北羽美術展

絵画部門	銀賞	○○	○○	佳作	○○	○○	佳作	○○	○○
習字部門	(半紙)	佳作	○○	○○	佳作	○○	○○		
習字部門	(条幅)	佳作	○○	○○					



おめでとうございます。